

# 六〇社中新聞

藤枝市議会・新会派「くまのさくら」季刊紙

夏号

協奏のまちづくり  
遠藤くにお  
080-1600-2228  
endo@60shachu.jp

里徳里創  
平井のぼる  
080-6920-0100  
hirai@60shachu.jp

（発行所）  
〒426-8722  
藤枝市岡田山一丁目十一番一  
藤枝市議会 六〇社中  
編集・制作・平井登  
印刷所・株式会社アイコム

## ◆平成27年度の会派・重点テーマ 「藤枝市創生総合戦略」策定に注視

国の最重要政策である「地方創生総合戦略」は、人口急減・超高齢化という我が国の大きな課題に対し、政府一体となって取り組み、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生することが狙いです。この政策を推進するために「まち・ひと・しごと創生法」が施行され、各自自治体では具体的な計画策定に急がれています。本市はどのような提案を描いていくのか注視し、タイムリーな提言を図りたいと思います。

（新型交付金）  
平成28年▶32年

## 六月議会 一般質問 遠藤久仁雄 議員

### 文化行事に対する取組姿勢を質す 誘客策や地元住民とのさらなる協働にアイデアを！

「桜まつり・朝比奈大龍勢の「おもてなし」に課題

私は、6月議会の第一日目に一般質問を行いました。今回は「藤枝市の文化に対する姿勢と取組について」を質問しました。その質問の中から、一部をご紹介させていただきます。



営面に関して質問する。

以上に対する市当局との質疑の内容は、次の通りでした。

質問1 「桜まつり」の来客者増加に努めているが、本年度新たな駐車場確保の取組はなされたか。また、瀬戸川「ふれあい橋」の河川敷では、毎年5月に水防訓練が行われる。その会場を「桜まつり」の駐車場として活用できないか。

質問1の駐車場確保の件については、「もしこの期間中に大雨があれば、整備した場所が流されてしまうという問題がある。しかし、どちらも市の事業なので検討の余地はある」とのことでした。会場近くに駐車場があれば、さらなる来訪客が見込まれるのではないかと考え要望しました。

質問2の「朝比奈大龍勢」については、特にシャトルバス（JA岡部支所（殿の間））について、再質問を行いました。



質問2 2年に一度行われる「朝比奈大龍勢」には、毎回大勢の来客が見られる。この行事のさらなる発展のため、その運

送の開始に、「このバスの接続が大変不便である。バスのルートについて、これまで検討されたか」との問いに対して、「遠

方からの利用者にとって、アクセスは充分ではない。JR駅からの新ルートなどを考えた時、駐車場等の難しい問題がある。今後バス会社と協議します」との回答でした。

次に、「料金はこのように決められるのか。片道5kmで400円は高いと思うが如何か」に対しては、「会場までの距離を測ったうえで、運行会社が運輸局に届け出て、適正な料金として設定されている」とのことでした。



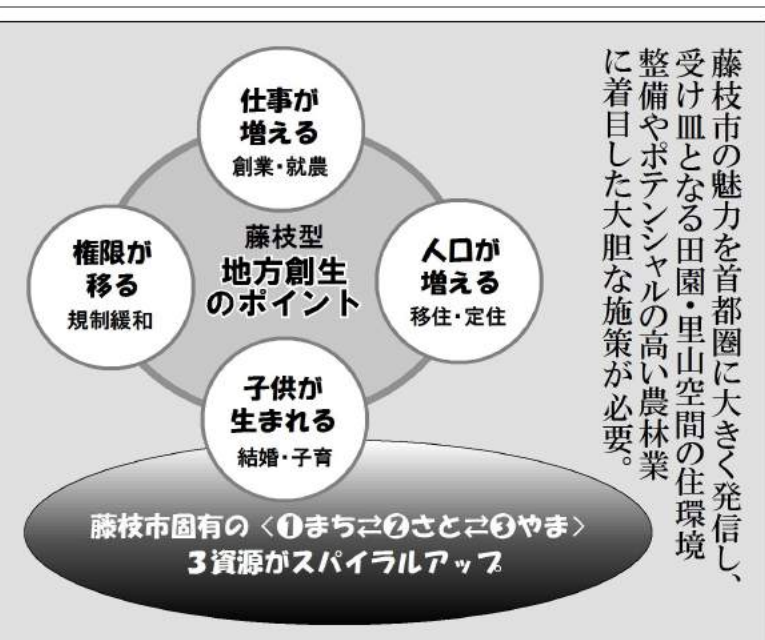
さらにバスの車内放送について質しました。「バスの車内放送について、大い

に不満である。お客様に対し『本日はおいでいただき、ありがとうございます』の一言のあいさつもない。そして、龍勢の簡単な説明があってもよさそう。帰りには『本日はお楽しみいただきましたでしょうか。2年に一度の龍勢です。また再来年、お友達をお誘い合わせの上、お越しください。お待ちしております』と、お待たせしていただきありがとうございます。『くらのアナウンスがあった。これは世間の常識です。『おもてなし』の気配りを持って気持ちよく迎え、またお送りする

とで、リピーターが増えることになると思いませんか。この再質問への回答は、「今後は、バスの中で放送を流し、お客様が龍勢のワクワク感や余韻を楽しめるよう、バス会社と一緒に考えていきたい」とのことでした。質問が終わってからの考えですが、このような車内の放送が難しいのなら、いっそ、市がガイドのボランティアを募集してやってみるのもどうかと思いました。

思うに、市が行っている委託事業の一つですが、事業の中身がチェックされず、毎回同じ内容の繰り返しで、これでは発展性が見られませんか。事業の見届けとともに、新しい発想を持って関わることが必要だと感じました。次に、龍勢会場の出店について質問しました。「会場の出店コーナーは料金が高くて、地元の方たちが出店しづらくなっている。地域活性化の面から、地元の人たちは安い料金で利用できるか」との問いに対しては、「地域の物産展の機会とらえて、今後地元の皆様が出店しやすいように考えていきたい」との回答をいただきました。

この政策を推進するために「まち・ひと・しごと創生法」が施行され、各自自治体では具体的な計画策定に急がれています。本市はどのような提案を描いていくのか注視し、タイムリーな提言を図りたいと思います。



## 会派の一年を振り返って

### 藤の実や 子よ父に 似るなかれ

藤枝市議会議員として早や1年が経ちました。平井議員と共に『60社中』を起ち上げ、右も左も分からないままの船出でしたが、周囲に迷惑をかけながら、何とかここまでやってまいりました。

私たちは、何を考えるにも、まずは市民の皆様のことを思い、そこから出発しなければならぬと、肝に銘じて活動してきました。そして年4回の定例議会での一般質問には、特に力を入れてまいりました。「質問の内容は本当にこれでよいのか。もっとほかの優れた言い方はないのか。市民の皆様に分かりやすい内容になっているのか」。毎回二人で討議し合って本番に臨んでいます。そして、終わってからは、「あの質問の仕方はどうだったのか。内容が十分に伝わってなかったのではないかなど、二人が思ったことを自由に言い合う、そんな会派なのです。

さて、1年が経ち、ここで改めて活動を振り返り反省しなければなりません。私達『60社中』の活動は、果たして皆さまの期待に応えられているのでしょうか。私たちの活動により、市長を始め、市当局からどれだけ建設的な意見が引き出されたのでしょうか。皆様のご意見をいただければ、うれしく思います。

冒頭の句は、昨年4月、当選早々に先輩から紹介していただいた俳句なのですが、私にとってあまりにも印象的で、衝撃的で、感動的で、またタイムリーでありました。私はその後、この俳句を座右の銘として議員活動を行っています。（遠藤久仁雄）



行政視察先(宇治市)での意見交換(2月10日)

## 知は行の本なり 行は知の実たり

私の好きな『吉田松陰語録』の一つです。「知識は行動のもとである。行動とは知識や正しい理解によって実現する」。幕末の激変期、松陰が野山獄で囚人に語った孟子の言葉で、正しく行動するために学ぶことは重要である、という考えです。新人議員として、謙虚に真摯に日々

学んでいるつもりですが、あっと言う間の一年に焦りを感じています。市民のために知らなければならないこと、行動しなければならないことが山ほどあるからです。しかし、一つひとつ誠実に取り組み少しづつ成果を出せれば、とも思っています。（平井 登）



# 藤枝の美味しいお茶を学校給食から その進捗と創意工夫を伺う

六月議会  
一般質問

平井 登 議員

**市内小中学校で足並み良く支給  
お茶の購入価格は1kgあたり  
10800〜20800円と大きな差**

昨年の11月定例会議で質問した「藤枝の美味しいお茶を学校給食から再振興」については、校長会並びに当局で前向きな協議の結果、本年度当初より市内小中学校で足並み良く給食時間にお茶の支給が行われるようになりました。そこで今回は、市内某小学校の現状を視察する中で、さらなる創意工夫が必要と考え、市長はじめ当局を質すとともに私なりのアイデアを提言しました。



1年生も上手に「やかん」からお茶を注いでいる

時間・支給方法）を伺う。答弁 すべての小中学校において給食時間、給食配膳員や業務員により、給食室でクラスごとにやかって用意し、

うなど美味しいお茶を飲むさせる工夫もある。

問 給湯機器等が未整備の小中学校への設置費用（既存改修・新規設置）はいくら要したか伺う。

答弁 給湯設備は、小学校2校・中学校3校で156万7千円。その他、やかん・テーブル等が小学校2校・中学校3校で73万8千円。合計は、230万5千円である。

それを児童・生徒が教室まで運んで飲んでいる。質問 各校で購入している茶種と価格帯を伺う。答弁 給食用にリーフ茶と同質の粉末をティーパックに詰められたものを購入。購入先は市内4つの業者で、価格帯は1キログラムあたり1,080円〜2,880円と各学校により差がある。岡部中学校では、玉露の粉末を使

問 市内全小中学校でのお茶支給の状況（支給



給湯設備

問 藤枝茶100%にこだわった「藤枝オリジナル学校給食専用茶」の開発は可能か

答弁 価格や数量の課題はあるが、藤枝茶100%

## 藤枝オリジナル学校給食専用茶の開発は可能か

問 お茶の淹れ方教室が市内全校で行われている。その成果を發揮し、ゆとりある教育につなげる意味でも学活時間等に急須でお茶を淹れて飲む習慣付けはできないか。答弁 定期的には難しいが年数回くらいはできるかどうか検討してみる。



残念ながら安価の粉末茶を原料としたティーパックは、決して美味しとは言えなかった

## 視察&私見

市内某小学校の給食時間を視察させていただいたが、給食時間内でお茶は支給されない。それも牛乳をまず飲んでから、ということから、児童にはやや負担なのか今一歓迎されていないようだった。

また、安価の粉末茶ティーパックは正直美味くなかったのが残念で、これではかえってお茶嫌いになるのではないかと心配だ。

煎茶はしめ置茶、紅茶、ウーロン茶など藤枝茶を原料に多彩な学校給食専用茶を開発し、ゆっくり美味しく味わえて、しかも団樂できる提供方法など、予算化は無論だが、さらなる創意と工夫が欠かせないと肌で感じた。

この実現には若手を擁する「お茶のまち推進室」が主導し、オール藤枝で取り組むことがカギになると考えている。そして商品化後の次なるステップは、全国の学校給食に藤枝オリジナル学校専用茶をセールし、市場のスケールメリットにより本市茶業の再興につながる独自のかつ果敢な戦略を練ってほしい。

## 『中山間地域活性化基本計画』中間見直しについて

（計画期間）平成23年〜32年

問 計画・地区別の取組の中で現時点において誇れるものは何か伺う。答弁 これまで中山間地域の魅力が広く発信され、大久保クラススキー場、白ふじの里などの活性化施設は平成22年度から着実に入り込み客数を増やしており、交流人口拡大に大きな役割を果たしている。これらは各地域で創意工夫をこらした取組の相乗効果でもある。

いくつかの特徴的な例として、まず「瀬戸谷まらかじり」は瀬戸谷の産業祭として定着し、さらに「瀬戸谷生き生きフォーラム」が、古民家を再利用した田舎暮らし体験施設「やまあい」をオープンし、瀬戸谷地域への移住希望者との懸け橋となる活動を展開している。

次に稲葉では、伝統行事である「とうろん」が実行委員会として組織化され「日本一のとうろんの里づくり」を目指しているほか、昨年は「助宗ひだまり倶楽部」が設立され、本年4月には、ふるさと暮らし体験施設「ひだまり」がオープンし、新たなまちむら交流の拠点として期待される。また梨葉では、梨葉川沿いの自然景観を保全する活動を「梨葉山水会」が担い、さらに誘客につながる取組を「白ふじの里実行委員会」が中心となり、梨葉西北活性化施設「白ふじの里」を核とした体験事業などに取組み多くの方が地域に足を運んでいる。さらに朝比奈では、全国的に有名な朝比奈大龍勢などがあり、それらが代表的に誇れるものである。



ふるさと体験暮らし施設「ひだまり」のオープニングイベント後、歌手の藤田恵美さんを囲んで記念撮影をする助宗地域の皆さん

問 計画の中で課題・難題は何か伺う。答弁 人口減少、少子高齢化が進んでいる上、コミュニティの維持や里山環境の保全の担い手

となる人の確保に問題がある。こうした中で、都会に住む若者を中心に「田園回帰」志向が高まっていると言われ、受け皿となる「住まい」と「働き場の」の確保が新たな課題である。本市では「空き家バンク制度」を導入し、中山間地域への移住を促進しているが提供物件が少ないという需給ギャップが生じている。

問 課題・難題を踏まえ、新たに計画に加える施策等はあるか伺う。答弁 中山間地域への人口移住策として「空き家バンク制度」を施策の中心に置いていたが、移住・定住希望者に住居を提供するための住環境整備を含めた「中山間地定住」施策やUターン者を増やす施策など、「定住プロジェクト」を具体的に推進する施策を加えていくよう検討する。



問 計画の中で課題・難題は何か伺う。答弁 人口減少、少子高齢化が進んでいる上、コミュニティの維持や里山環境の保全の担い手

問 本年1月末に4ha以下の農地転用の許可権限が市長に移譲されたが、宅地開発・農地開発の考えはあるか伺う。答弁 現在、政府が各地域に求めている「地方創

ぜひご覧くださいね！  
議会インターネット配信  
「一般質問」等の議会録画は、インターネットで配信されていますので、いつでもアクセス、ご覧いただけます。

藤枝市議会 検索

